

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年10月30日 (2008.10.30)

【公表番号】特表2008-512992(P2008-512992A)

【公表日】平成20年5月1日 (2008.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2008-017

【出願番号】特願2007-531547(P2007-531547)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/81 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/55 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 41/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/81

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 P 21/02 C

A 6 1 K 37/64

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 43/00 1 0 7

A 6 1 P 41/00

A 6 1 P 9/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月10日 (2008.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 のヌクレオチド配列を含む、単離核酸。

【請求項 2】

核酸が第 X a 因子 (F X a) の K u n i t z 型阻害因子をコードする、請求項 1 に記載の核酸。

【請求項 3】

配列番号 2 のアミノ酸配列を含む、精製ポリペプチド。

【請求項 4】

ポリペプチドが、

(i) F X a によって媒介される凝固の減少 (この減少は、リン脂質の存在下で起こる。) 、

(i i) B 1 6 F 1 0 細胞のアポトーシスの促進、

(i i i) S K M E L 2 8 細胞のアポトーシスの促進、

(i v) B 1 6 F 1 0 腫瘍細胞を移植された C 5 7 B L / 6 J マウスにおける腫瘍塊の減少、

(v) B 1 6 F 1 0 腫瘍細胞を移植された C 5 7 B L / 6 J マウスにおける腫瘍転移の減少、

(v i) B 1 6 F 1 0 腫瘍細胞を移植された C 5 7 B L / 6 J マウスにおける血管新生の減少、及び

(v i i) B 1 6 F 1 0 腫瘍細胞を移植された C 5 7 B L / 6 J マウスにおけるマクロファージの食作用活性の増加

からなる群から選択される活性を有する、請求項 3 に記載のポリペプチド。

【請求項 5】

配列番号 2 のアミノ酸配列からなる、精製ポリペプチド。

【請求項 6】

配列番号 3 のアミノ酸配列を含む、精製ポリペプチド。

【請求項 7】

ポリペプチドが、

(i) F X a によって媒介される凝血の減少 (この減少は、リン脂質の存在下で起こる。) 、

(i i) B 1 6 F 1 0 細胞のアポトーシスの促進、

(i i i) S K M E L 2 8 細胞のアポトーシスの促進、

(i v) B 1 6 F 1 0 腫瘍細胞を移植された C 5 7 B L / 6 J マウスにおける腫瘍塊の減少、

(v) B 1 6 F 1 0 腫瘍細胞を移植された C 5 7 B L / 6 J マウスにおける腫瘍転移の減少、

(v i) B 1 6 F 1 0 腫瘍細胞を移植された C 5 7 B L / 6 J マウスにおける血管新生の減少、及び

(v i i) B 1 6 F 1 0 腫瘍細胞を移植された C 5 7 B L / 6 J マウスにおけるマクロファージの食作用活性の増加

からなる群から選択される活性を有する、請求項 6 に記載のポリペプチド。

【請求項 8】

配列番号 3 のアミノ酸配列からなる、精製ポリペプチド。

【請求項 9】

配列番号 3 のアミノ酸 1 ~ 6 1 を含む、精製ポリペプチド。

【請求項 10】

配列番号 3 のアミノ酸 6 2 ~ 1 0 8 を含む、精製ポリペプチド。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の核酸を含む、薬剤組成物。

【請求項 1 2】

請求項 3 に記載のポリペプチドを含む、薬剤組成物。

【請求項 1 3】

請求項 6 に記載のポリペプチドを含む、薬剤組成物。

【請求項 1 4】

対象における血液凝固を減少させるための、請求項 1 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 1 5】

対象における癌を治療するための、請求項 1 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 1 6】

化学療法と一緒に投与される、請求項 1 5 に記載の薬剤組成物。

【請求項 1 7】

放射線治療と一緒に投与される、請求項 1 5 に記載の薬剤組成物。

【請求項 1 8】

対象における腫瘍の進行を抑制するための、請求項 1 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 1 9】

対象における腫瘍転移を抑制するための、請求項 1 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 0】

対象における腫瘍血管新生を抑制するための、請求項 1 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 1】

対象における食作用活性を増大させるための、請求項 1 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 2】

対象における血栓塞栓症を治療又は予防するための、請求項 1 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 3】

術前又は術後の状況において投与される、請求項 2 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 4】

対象における血液凝固を抑制するための、請求項 1 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 5】

対象における癌を治療するための、請求項 1 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 6】

化学療法と一緒に投与される、請求項 2 5 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 7】

放射線治療と一緒に投与される、請求項 2 5 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 8】

対象における腫瘍の進行を抑制するための、請求項 1 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 9】

対象における腫瘍転移を抑制するための、請求項 1 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 3 0】

対象における腫瘍血管新生を抑制するための、請求項 1 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 3 1】

対象における食作用活性を増大させるための、請求項 1 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 3 2】

対象における血栓塞栓症を治療又は予防するための、請求項 1 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 3 3】

術前又は術後の状況において投与される、請求項 3 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 3 4】

請求項 1 に記載の核酸を含む、ベクター。

【請求項 3 5】

請求項 3 4 に記載のベクターを含む、宿主細胞。

【請求項 3 6】

請求項 35 に記載の宿主細胞を、核酸によってコードされる阻害因子が発現する条件下で培養することを含む、第 X a 因子 (F X a) の K u n i t z 型阻害因子を生成する方法。

【請求項 37】

宿主細胞又は宿主細胞培養上清から阻害因子を精製することをさらに含む、請求項 36 に記載の方法。